

日本農業気象学会2020年全国大会 口頭発表プログラム

		A 会場	B 会場
3月17日 (火)	10:00-12:00	<p>気象現象・気象災害1 座長：横山 仁</p> <p>A-1 2019年に発生した台風15号及び19号による農業気象災害の特徴 横山 仁, 飯塚 聡, 日高達也 (防災科研)</p> <p>A-2 日本の局地風の全国的・全面的見直し 真木太一 (九州大名誉教授・日本学術会議・北海道大), 鮫島良次 (北海道大)</p> <p>A-3 2016年8月24~27日の水晶・赤牛・野口五郎・三ツ岳の風速・気温等の推定 真木太一 (九州大名誉教授・日本学術会議・北海道大)</p> <p>A-4 終戦を促した昭和20年大冷夏による大凶作 中西幸太郎, 立花義裕, 飯島慈裕 (三重大)</p> <p>環境動態解析1 座長：奥村智憲</p> <p>A-5 気候変動が植生の揮発性炭化水素放出に及ぼす影響 奥村智憲 (環境水研), 小杉緑子 (京都大)</p> <p>A-6 Isoprene emission from 18 species of bamboos in Japan Ting-Wei Chang (Kyoto Univ), Motonori Okumura (Research Institute of Environment, Agriculture, and Fisheries, Osaka Pref), Tomonori Kume (Kyushu Univ), Lin-Jie Jiao, Yoshiko Kosugi (Kyoto Univ)</p> <p>A-7 水ストレスが無花粉スギの成長量とテルペン類放出に及ぼす影響 望月智貴, 村松大揮, 袴田哲司, 谷 晃 (静岡県大)</p> <p>A-8 植物による単環芳香族炭化水素の吸収と気孔を介した吸収モデルの開発 小池萌恵子, 望月智貴, 谷 晃 (静岡県大)</p>	<p>生育情報・生育モデル1 座長：遠藤良輔</p> <p>B-1 水分ストレスが植物葉の形態に及ぼす影響の深層学習ならびに重要特徴量の可視化 遠藤良輔, 横尾和輝 (大阪府大), 中村俊輔, 廣部杏輔 (中村牧場)</p> <p>B-2 放射伝達モデルに基づく被覆茶のクロロフィル含量評価 菌部 礼 (静岡大), 廣野祐平, 大井彩子 (農研機構)</p> <p>B-3 チャの耐凍性にに基づく凍霜害リスクの評価 I. 耐凍性消長モデルの構築 木村建介, 吉田晃一郎, 安武大輔, 北野雅治 (九州大)</p> <p>B-4 チャの耐凍性にに基づく凍霜害リスクの評価 II. 過去40年における温暖化の影響評価 吉田晃一郎, 木村建介, 安武大輔, 北野雅治 (九州大)</p> <p>生育情報・生育モデル2 座長：熊谷悦史</p> <p>B-5 ハイパースペクトル反射計測によるダイズ地上部形質の高速評価手法の検討 熊谷悦史, 屋比久貴之 (農研機構), 木村建介 (九州大), 小木曾映里, 平田香里, 山田哲也, 長谷川利拓 (農研機構)</p> <p>B-6 秋田県大湯村におけるダイズの生育と土壌水分・気象との関係 伊勢貴之, 井上誠, 木口倫, 佐藤孝, 保田謙太郎 (秋田県立大)</p> <p>B-7 秋播性の異なるコムギ品種に対する低温要求関数を導入した生育モデルの評価 川北哲史, 石川直幸, 高橋英博, 奥野林太郎 (農研機構), 高橋 肇 (山口大)</p> <p>B-8 弱光条件下でのメリット青の葉面散布が与えたレンゲの生育改善効果の機構解明 峯村信広 (生科研), 角 明夫 (鹿児島大)</p>
	13:00-15:30	<p>OS1 大気-生態系間のフラックス評価における微気象学的課題 オーガナイザー：JapanFlux (平田竜一, 岩田拓記, 植山雅仁, 平野高司)</p> <p>OS1-1 近年の地表面熱収支インバランスに関する研究の動向 岩田拓記 (信州大)</p> <p>OS1-2 植物群落におけるスカラー量の乱流輸送過程 渡辺力, 高木稔衣, 下山 宏, 川島正行 (北海道), 稲垣厚至 (東工大)</p> <p>OS1-3 不均一な大規模粗度を作る乱流境界層の輸送過程 稲垣厚至, 神田学, 小野寺直幸, 青木尊之 (東工大)</p> <p>OS1-4 風洞実験に基づくSAT補正式を簡便に野外観測値に適用する方法について 清水貴範 (森林総研), 中井太郎 (臺灣大), 熊谷朝臣 (東京大), 飯田真一, 壁谷直記, 玉井幸治, 清水 晃 (森林総研)</p> <p>OS1-5 LI-7700を用いる際の各種補正について 中井太郎 (臺灣大)</p> <p>OS1-6 渦相関法の相対誤差特性とフラックス計算への適用 金 元植 (農研機構), 徐 炯鎬 (特作院), 小森大輔 (東北大), 趙 在一 (全南大)</p> <p>OS1-7 微小な海面CO<sub>2</sub>フラックスを評価するための大気圧乱流変動の観測 近藤文義 (海保大), 柚谷 啓 (大同大)</p>	<p>植物応答・環境調節1 座長：松嶋卯月</p> <p>B-9 赤外線および重水トレーサを用いた植物細胞内における水移動可視化 松嶋卯月, 佐藤文佳, 庄野浩資 (岩手大)</p> <p>B-10 リーフポロメーターのチャンパー振とう機の試作とその省力効果 蛭木朋子, 鈴木海斗 (明治大), 鈴木一志 (シスコ), 小沢 聖 (明治大)</p> <p>B-11 リーフレタスにおける硝酸塩の吸収と代謝に対する光条件の影響 澤 春奈, 佐合悠貴, 田代葉菜 (山口大)</p> <p>B-12 リーフレタス成長モデルの構築に向けた個体および個葉における光合成速度の評価 田代葉菜, 佐合悠貴, 澤 春奈 (山口大)</p> <p>植物応答・環境調節2 座長：星 岳彦</p> <p>B-13 温室気象環境予測のための深層学習モデル適用の可能性 星 岳彦, 松浦明日菜, 空三綾音 (近畿大)</p> <p>B-14 ICT利用型養液土耕制御システムに対する利用者の満足度 町田創 (青森産技), 喜多英司 (ルートレック・ネットワークス), 佐藤和憲 (東京農業大), 岡田益己 (岩手大), 小沢 聖 (明治大)</p> <p>B-15 遠赤色光は植物応答を介してナミハダニの産卵および摂食行動に影響を及ぼす 渋谷俊夫, 塚本聡美, 遠藤良輔, 北宅善昭 (大阪府大)</p> <p>B-16 バブリカの着果動態シミュレーションモデル 本間克己, 飯村由信 (富士通研究所), 安武大輔 (九州大)</p>

3月18日 (水)	9:00-11:00	<p>気象現象・気象災害2 座長：植山秀紀</p> <p>A-9 放射冷却強度指標を用いた数値予報モデルの気温予報値の補正 植山秀紀（農研機構）</p> <p>A-10 気候変動による北海道のバレイショ生産への影響の検討 菅原邦泰（北海道大），稲津 将（北海道大），廣田知良，下田星児，村上貴一（農研機構）</p> <p>A-11 害虫発生予察に向けた有効積算気温モデルの検証 望月遼太，丸山篤志（農研機構）</p> <p>A-12 気象予測データの適用によるアカスジカスミカメの越冬世代孵化盛期の予測の高度化 萱場互起（気象庁），鮫島良次（北海道大）</p>	<p>OS2 換気条件下のCO<sub>2</sub>施用に関する最近の話題と問題点 オーガナイザー：嶋津光鑑</p> <p>OS2-1 CO<sub>2</sub>収支法による自然換気温室の群落光合成速度算定の課題 嶋津光鑑，山本直也，服部 慎，Ahmad Tusi，仲井琴音（岐阜大）</p> <p>OS2-2 強制換気温室におけるCO<sub>2</sub>施用速度-植物個体群純光合成速度曲線のリアルタイム推定システムの開発 川島崇志，松田 怜，富士原和宏（東京大）</p> <p>OS2-3 イチゴ温室における局所適時CO<sub>2</sub>施用の効果-CO<sub>2</sub>濃度分布，成長・収量，および灯油消費量に着目して- 安武大輔（九州大），日高功太（農研機構），Zhang Yue，荒河風夏，岡安崇史，北野雅治（九州大）</p> <p>OS2-4 ヒートポンプ冷房を利用した換気窓閉鎖時のCO<sub>2</sub>施用 シミュレーションによる施用時間の推定- 石神靖弘（高崎健康福祉大），大森 渉，後藤英司（千葉大）</p>
	14:00-16:45	<p>気象現象・気象災害3 座長：佐々木華織</p> <p>A-13 気象庁数値予報モデルGPV（MSM,GSM）の日射量予測値およびこれに基づく日照時間の精度検証 佐々木華織（農研機構）</p> <p>A-14 古記録中の草本植物の開花記録を用いた京都における4月平均気温の復元 西谷綾夏，青野靖之（大阪府大）</p> <p>A-15 2週間気温予報の提供開始と利活用促進に向けて 萱場互起（気象庁）</p> <p>A-16 Inter-comparison of multiple statistically downscaled and bias corrected regional climate scenarios for Japan Motoki Nishimori, Toshichika Iizumi, Nobuhiko Endo (NARO), Noriko N. Ishizaki, Hideo Shiogama, Naota Hanasaki, Kiyoshi Takahashi (NIES)</p>	<p>OS3 気候変動適応に資する農業気象学の近年の取り組み オーガナイザー：飯泉仁之直，滝本貴弘，増富祐司</p> <p>OS3-1 Assessment of crop response to high temperature condition using remote sensing technique 趙 在一（全南大），Jae-Hyun Ryu（全南大）</p> <p>OS3-2 つくば市内多地点水田圃場における温暖化適応策の検討：白未熟粒発生率と地温・水位の関係 今井葉子，川村拓，河田直弥，関 浩一（茨城大），柳田 惇（八千代市），田村 誠，増富祐司（茨城大）</p> <p>OS3-3 水と培養液の供給方法による養液土耕栽培での高温対策 小沢 聖（明治大），喜多英司（ルートレック・ネットワークス），藤島弘行（山形庄内産地研），町田 創（青森産技）</p> <p>OS3-4 北海道小麦における気象変動適応技術について 下田星児（農研機構），杉川陽一（北海道総研），荒木英晴（北海道農政部）</p> <p>OS3-5 農家が気候変動へ適応するために研究ができること 小林和彦（茨城大），広田知良（農研機構）</p> <p>OS3-6 コシヒカリを対象とした全国白未熟粒発生率予測 増富祐司（茨城大），滝本貴弘（農研機構），島村宗義（茨城大），眞部 徹（茨城農総セ），荒川 誠，志保田尚哉，大戸敦也（埼玉農技セ），東 聡志（新潟農総研），今井葉子（茨城大），田村 誠（茨城大）</p> <p>OS3-7 干ばつによる全球穀物被害の検出と予測に関する試み 金元植，飯泉仁之直（農研機構），趙 在一（全南大），増富祐司（茨城大）</p> <p>OS3-8 農業応用向け全球・3時間・0.5°・バイアス補正再解析・季節予報接合気象外力データ 飯泉仁之直，滝本貴弘（農研機構），増富祐司（茨城大）</p> <p>OS3-9 農業分野における温暖化適応に関する論文タイトルの分析 滝本貴弘，飯泉仁之直（農研機構）</p>

3月19日 (木)	9:00-10:30	環境動態解析2 座長：高木健太郎	生育情報・生育モデル3 座長：石郷岡康史
		<p>A-17 森林伐採に伴い放出されたCO<sub>2</sub>を回収するために必要な時間 高木健太郎, 小池孝良, 笹賀一郎(北海道大), Aguilos Maricar (ノースカロライナ大), 梁 乃申, 高橋義幸, 三枝信子, 藤沼康実(国環研)</p> <p>A-18 熱帯泥炭林のオイルパーム農園への転換で発生した粗大有機物の分解量の評価 平野高司, 村田祥子(北大), 平田竜一, 白石知弘(国環研), 林 真智(JAXA), 伊藤雅之(兵庫県立大), Joseph Wenceslaus Wailli, Kevin Kemudang Musin, Edward Baran Aeries, Kim San Lo, Frankie Kiew, Guan Xhuan Wong, Angela Tang, Lulie Melling (STROPI)</p> <p>A-19 温帯林の湿地におけるハンノキ樹幹からのメタン放出の季節変動 坂部綾香, 高橋けんし(京都大), 東若菜(神戸大), 伊藤雅之(兵庫県立大), 小杉緑子(京都大)</p> <p>A-20 湖における温室効果ガスの拡散放出モデルの検証 田岡 作(信州大), 岩田拓記・宮原裕一(信州大), 平田竜一・高橋善幸(国環研), 伊藤雅之(兵庫県立大)</p> <p>A-21 渦相関法の平均化時間短縮に関する検討 小野圭介, 伊川浩樹, 宮田 明(農研機構)</p> <p>A-22 都市中心部および郊外地域におけるメタンフラックスの連続測定 高野倫未, 植山雅仁(大阪府大)</p>	<p>B-17 高温・高CO<sub>2</sub>濃度複合影響を考慮した温暖化時の水稲品質予測 石郷岡康史, 西森基貴, 若月ひとみ, 義形恒男, 長谷川利弘(農研機構)</p> <p>B-18 水稲生育期間の過去40年の温暖化傾向の地理的特徴 舛谷悠祐(岩手大・農研機構), 石郷岡康史(農研機構), 熊谷悦史(農研機構・岩手大), 長谷川利弘(農研機構)</p> <p>B-19 東北地方の水稲普及品種「あきたこまち」と多収品種「ゆみあずさ」の品種・収量特性およびそれらに関わる複合要因の比較解析 屋比久貴之, 浪川菜莉, 長谷川利弘(農研機構)</p> <p>B-20 イネの鉛直葉群構造を考慮した成長応答モデルの開発 辰巳賢一(東京農工大)</p> <p>B-21 水稲の主要な発育期を面的に把握し, 推定する情報発信システムの開発 川方俊和, 長谷川利弘, 屋比久貴之, 大久保さゆり(農研機構)</p> <p>B-22 気象情報と水管理層を用いた水田の水需要の推定 丸山篤志, 坂田 賢, 佐々木華織, 伊川浩樹(農研機構)</p>
	10:40-12:10	環境動態解析3 座長：中井太郎	生育情報・生育モデル4 座長：鈴木 純
		<p>A-23 Simulation of dynamics and ecohydrological processes of Japanese cedar forest in Xitou, Taiwan Taro Nakai (NTU), Yen-Jen Lai (NTU Exfo), Tomo'omi Kumagai (The Univ of Tokyo)</p> <p>A-24 Eddy covariance measurement and multilayer model simulation of latent heat and CO<sub>2</sub> flux over a Japanese cypress canopy during and after the precipitation Linjie Jiao, Yuichi Sempuku, Tingwei-Chang, Yoshiko Kosugi (Kyoto Univ)</p> <p>A-25 気温変化に基づく顕熱フラックス推定に必要な伝達関数の特性 田中康資(三重県立北星高), 清澤秀樹(元三重大)</p> <p>A-26 中部山岳域におけるカラマツ人工林の炭素収支の気候変動応答 栗林正俊(長野環境保全研), 伊藤昭彦(国環研), 高橋善幸(国環研)</p> <p>A-27 積算温度モデルを用いた内陸アラスカの種特有の植物季節現象の評価と将来予測 川嶋しほり, 植山雅仁, 原園芳信, 岡村幹太(大阪府大), 岩田拓記(信州大), 小林秀樹(JAMSTEC)</p> <p>A-28 渦相関法を用いた山脈稜線上ハイマツ生態系におけるフラックス観測 佐藤 椋, 岩田拓記(信州大)</p>	<p>B-23 Determination of soil aggregate density Jun Suzuki (Shinshu Univ), Nobuhiro Matsuoka (Chiba Univ)</p> <p>B-24 Changes in photosynthesis and stomatal conductance of rice leaves before and after irrigation Hiroki Oue, Megita Ryanjani Tanuputri, May Myat Mon, Yuanyuan Mao (Ehime Univ)</p> <p>B-25 Predicting dry season period using cumulative rainfall analysis in Agam District, West Sumatra, Indonesia Fadli Irsyad, Ami Sukma Utami, Hiroki Oue (Ehime Univ)</p> <p>B-26 Temporal change in potato storability associated with soil temperature Maki Kanaya, Seiji Shimoda, Yasuhiro Kominami (NARO, HARC)</p> <p>B-27 Pressure-Volume (P-V) Curve のすすめ 小沢 聖(明治大)</p> <p>B-28 Internet of Plants (IoP) によるボトムアップイノベーションを目指して 北野雅治, 野村浩一, 安武大輔(九州大), 浅野雄大(高知農技セ), 山崎富弘, 岩尾忠重, 齊藤正彦(富士通), 受田浩之(高知大)</p>